

第1回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和2年6月22日(月)PM7:00～PM8:20

場 所 新城市役所 4階 会議室

出席者 委員26名(市役所参加6名 オンライン参加20名) 事務局5名

次第

- 1 あいさつ
- 2 議事
 - (1) 分科会の設置及び構成委員について
 - (2) 地域活動交付金の二次募集について
 - (3) 地域協議会の年間開催スケジュールについて
- 3 連絡事項
 - (1) 地域活動支援員について
 - (2) 令和2年度地域自治区予算事業の進捗状況について

1 あいさつ

- ・企画部長あいさつ
- ・会長あいさつ
- ・委員自己紹介

今回はオンラインという不自由な縛りの中で会議を開催したが、今後は様子を見ながら柔軟に対応していきたい。

2 議事

協議会の会議録署名

会議録の署名人については、会長及びその他委員2名の合計3名とし、その他委員は委員名簿の上から順に2名ずつ行っていくことを決定した。

(1) 分科会の設置及び構成委員について

(事務局説明)

- ・昨年度地域協議会からの引き継ぎ事項について
- ・地域協議会推進体制について
- ・分科会の設置について
- ・副会長の職務順位について

○主な意見

(委員) 委員の人数は全部で28人であり、会長は分科会には入らないと聞いているので、そのことを踏まえて分科会の構成委員の人数の調整をしてほしい。

(事務局) 会長は分科会には入らず、オブザーバーという扱いである。

(会 長) 昨年度も会長はオブザーバーという位置づけであったので、今年度もいいのではないかと。また、分科会構成委員の割合として、交付金分科会は8人から10人、地域計画推進分科会は15人から17人としてほしい。この割合が偏った場合には調整をお願いするかもしれない。

結 果

- ・地域活動交付金分科会、地域計画推進分科会の2つの分科会を作ること、合わせて分科会会長が副会長を兼務することを決定した。
- ・副会長の優先順位については、順位1に赤川副会長、順位2に市村副会長となった。
- ・各委員の希望を聞き分科会委員構成が以下のとおり決定した。

| 地域活動交付金分科会（10名） | | 地域計画推進分科会（17名） | |
|-----------------|-------|----------------|--------|
| 分科会長 市村 照代 | | 分科会長 赤川 哲久 | |
| 川合 守 | 天野 健治 | 沢田 実付晴 | 抱岩 純子 |
| 小川 裕司 | 稲垣 充 | 前沢 美津男 | 福岡 悦子 |
| 森田 信義 | 山本 輝久 | 加藤 明宏 | 戸田 由信 |
| 野澤 俊治 | 福田 博 | 藤田 哲也 | 浅井 美夏 |
| 夏目 有人 | | 海野 好史 | 熊谷 浩恭 |
| | | 佐々木 昌也 | 渡邊 竜夫 |
| | | 林 清彦 | 関原 香緒里 |
| | | 真木 謙治 | 加藤 由美子 |

(2) 地域活動交付金の二次募集について (事務局説明)

- ・地域活動交付金の二次募集について

○主な意見

- (委 員) 二次募集をする場合におけるスケジュールを示してもらいたい。
- (事務局) 本日二次募集をすることを決定していただいたとしたら、ホームページ更新や団体への連絡、チラシの修正など様々な準備をした上で、7月1日から募集を開始できる見込み。募集期間は後で決めてもらいたいですが、3週間から1ヶ月とったとして、例年と同様のスケジュール間だとその後は勉強会として交付金分科会2回、審査会は8月22日か23日の土日の午後から。週明けの24日月曜日に採択結果を全員で承認し、その後市で交付決定を出す。二次募集するということであれば、まず募集期間について決めていただきたい。
- (委 員) 一次募集で14団体の申請意向があったとのことだが、その14団体の申請は白紙になった状態で二次募集をかけるのか、それともその14団体以外を二次募集で募集するのか。
- (事務局) 団体に対して、市から活動及び申請を自粛してもらっている。申請はされていない白紙状態、つまり申請を待ってもらっている。

- (会 長) コロナの関係で申請をやめてしまう団体もいるかもしれないが、二次募集が始まったことを事務局から14団体に声掛けをしていく。
- (市村副会長) 4週間取ってしまうと、事務局から送付されてきた申請団体の資料等を分科会までに委員が読み込む時間がなくなるので3週間にしていきたい。
- (会 長) 地域への募集方法については、市の回覧文書がコロナの関係でできないため、防災無線で流すこととする。各委員さんは地域の集まりで周知してほしい。申請意向のあった14団体には事務局から直接連絡をお願いしたい。

結 果

- ・地域活動交付金の二次募集を行う。
- ・募集期間は7月1日(水)から7月21日(火)
- ・募集要項及び審査基準は4月の一次募集と同様で進める。

(3) 地域協議会の年間開催スケジュールについて

(事務局説明)

- ・地域協議会及び分科会の活動内容と年間スケジュールについて

○主な意見

- (市村副会長) 地域活動交付金の審査会は毎年土曜日に行っている。今年度は消防防災センターが使用できないので、平井公民館での開催も検討している。ただ、17時から他の団体が使用しているので、それまでに終了する必要がある。それか8月23日(日)にするか。
- (会 長) 会議は対面かオンラインか。
- (市村副会長) 分科会の人数は少ないので、1回目の分科会は集まって会議をしたいと考えている。その様子を見て、次の会議をリモートにするのか決めたい。
- (委 員) 審査会は土曜日がいい。
- (委 員) 地域計画推進分科会は初めて参加する方も多くオンラインだと話が伝わっているのか分からない部分もあるので、どこかで集まってできるように調整してほしい。
- (委 員) 内容にもよるが、比較的広い場所で開催するのであればいいのではないか。集まって顔を合わせて話す方が話しやすいと思う。
- (委 員) 開催通知を送って欲しい。
- (委 員) 会議時間は決めているのか。
- (会 長) 議論が白熱すれば長くなる場合があるが、おおむね1時間30分から2時間程度。若い人が多くいたので、昨年度は開始時間は19時30分からだった。

結 果

・地域協議会

- 第2回 8月24日(月)19:00～
- 第3回 10月12日(月)19:00～
- 第4回 11月16日(月)19:00～
- 第5回 12月21日(月)19:00～

第6回 2月15日(月)19:00～

・地域活動交付金分科会

第1回 8月 3日(月)19:00～ 場所:平井公民館 ※対面での会議

第2回 8月17日(月)19:00～ 場所:平井公民館

第3回 8月22日(土)12:30～ 場所:平井公民館(審査会、申請団体数により終了時刻変動)

第4回 12月14日(月)19:00～

第5回 2月 1日(月)19:00～

第6回 2月28日(日)交付金成果報告会

・地域計画推進分科会

第1回 7月 6日(月)19:30～ 場所:新城市役所 4階 会議室 ※対面での会議

第2回 8月31日(月)19:30～

第3回 9月14日(月)19:30～

第4回 10月 5日(月)19:30～

第5回 11月 9日(月)19:30～

第6回 12月 7日(月)19:30～

第7回 1月18日(月)19:30～

第8回 2月 8日(月)19:30～

以上の日程に決定した。

3 連絡事項

(事務局説明)

- ・地域活動支援員について
- ・令和2年度地域自治区予算事業の進捗状況について

○主な意見

(委員) 地域安全灯は大宮区は完了となっているが、新たに出てきた場合はどうなるのか。

(事務局) 地域安全灯は実施し続けて7年も経つので、今後もずっとこの事業が続けられるわけではないということで、昨年度各区長さんに今後の計画について調査した経緯がある。その計画に変更あれば、出してもらえば地域協議会で話し合っ決めていくことになる。安全灯だけでなく、可燃ゴミ集積施設補助事業など他にも各区長さんに要望に聞く事業もあるので、それらについてどうするのか地域協議会で方針を決めていく必要がある。

(委員) AEDのリースは市が払うのか、それとも地域で払うのか。

(事務局) 地域自治区予算事業は市が実施する事業なので、AEDだけでなく他の事業も全て市が払い実施していく。

(委員) 地域の足を考える会はどういうイメージなのか。今のSバスを指しているのか、それとももっと別の新しいことなのか。

(副会長) Sバスもそうだが、現状としてどんどん高齢化が進んでいる。免許証返納も増えている。その状況の中で、行きたいところに行きたいようにするためにはどうするのか、

東郷地区は広いので、交通の希望に関してそれぞれ地区ごとに差がある。例えば作手地区みたい乗り合い型のデマンドバスの形もある。Sバスだけに頼らずに様々な意見を拾い上げて今後に活かしていきたい。

(委員) それは大事なことだと感じている。

【20:20 終了】